



＜フィルム部門 Aカテゴリー (テレビCM)
総務大臣賞 / ACC グランプリ、ACC ゴールド＞

賞名	広告主	商品名 タイトル	広告会社	制作会社
総務大臣賞 /ACC グランプリ	東海テレビ放送	自社キャンペーン /総集編②	電通 中部支社	ソアズロック/ Zaxx/東海 テレビプロ ダクション
ACC ゴールド	サントリー ホールディングス	pepsi NEX ZERO / pepsi STRONG ZERO / 桃太郎「Episode.2」篇/ 同「Episode.3」篇	TUGBOAT/ 読売広告社	東北新社
ACC ゴールド	Apple Inc.	iPhone6/ iPhone 6 Jin C. 篇 (do)/ 同 Amar R. 篇 (do)/ 同 Cielo D. 篇 (do)/ 同 Trond K. 篇 (do)/ 同 Jirasak P. 篇 (au)/ 同 Herbert S. 篇 (au)/ 同 Cocu L. 篇 (au)/ 同 Antoine D. 篇 (sb) 他2篇	TBWA\ HAKUHODO +TBWA\Media Arts Lab	なし
ACC ゴールド	サントリー ホールディングス	BOSS/宇宙人ジョーンズ・テ レビ局篇 /同・プレミアム対 談 A 篇/同・プレミアム対談 B 篇 /同・テレビと若者篇 / 同・Pepper(職場)/同・Pepper (家庭) /同・プレミアム鉄道	シンガタ/ ワンスカイ/ 電通	ギーク ピクチュアズ
ACC ゴールド	独立行政法人 日本スポーツ振興センター	BIG/BIG 2015 「西島の 証言」篇/同「菅田の証言」 篇/同「二階堂の証言」篇 /同「松重の証言」篇/ 同「友近の証言」篇	電通	ギーク ピクチュアズ
ACC ゴールド	KDDI	au /au あたらしい英雄・桃太 郎篇/同・金太郎篇/同・浦島 太郎篇/au 学割 桃太郎の出生 篇/au スマートバリュー 子だ くさんのキジ篇/au スマホ 玉 手箱篇/au スマ得キャンペー ン 桃太郎とかぐや姫篇/au 夏のトビラ・竜宮城篇/au 夏 ラインナップ 乙姫登場篇	電通	AOI Pro.



ACC ゴールド	新日邦	コンコルド/コンコルゲン夫 婦 1 登場篇/同・2 友人夫婦篇 /同・3 ご挨拶篇 B/同・4 愛 の不毛篇/同・5 女性社員篇 C /同・6 すばらしい両親篇/ 同・7 カップル篇/同・10 奥さ まお手をどうぞ篇	ダン	ザ・ないん
ACC ゴールド	全国都道府県及び 20 指定都市	LOTO7、LOTO6/LOTO7 話は変わる篇 5~8 話 120 秒 金曜抽せん/ LOTO6 話は変わる篇 9 話 30 秒/LOTO7 話は 変わる篇 10 話 30 秒 金 曜抽せん/LOTO7 話は 変わる篇 11 話 30 秒 CO 発生中	TUGBOAT/電通	電通クリエー ティブ X
ACC ゴールド	住友生命保険相互会社	企業/ dear my family /dear my family 2015	TUGBOAT/ 博報堂	東北新社
ACC ゴールド	島忠	シマホ企業/ BBQ/家具/面会/出所	ワトソン・クリック /ティー・ワイ・ オー	ティー・ワ イ・オー CampKAZ
ACC ゴールド	健康コーポレーション	ライザップ/ 一般篇/ 外国人篇/赤井さん篇	電通九州	エンジンフィ ルム

<同地域賞>

地域	広告主	商品名 タイトル	広告会社	制作会社
北海道	サッポロ不動産開発	サッポロファクトリー・ クリスマスイベント/ HAPPINESS SHOT! 60 秒篇	北海道博報堂	M'S FACTORY
東北	岩手日報社	IWATTE/ IWATTE 恋し浜駅篇	博報堂	博報堂 プロダクツ
関東・甲信 越・静	武蔵野銀行	企業/「2つの人生」篇	ビルド・クリエイ ティブハウス	ティー・ワイ・オ ー TYO プロダ クションズ 2
北陸・中部	東海テレビ	自社キャンペーン / 総集編②	電通 中部支社	ソアズロック/ Zaxx/東海テレ ビプロダクショ ン



近畿	カルビー	フルーツ／フルーツ おんなのうた 1 ／同 2／同 3／同 4	電通	東北新社
中国・四国	ムラタ	村田葬儀社／昔話	電通西日本 松山支社	VSQ
九州・沖縄	フンドーキン醤油	フンドーキン／ FUN 篇	BBDO J WEST	ビデオ・ステーション・キュー

※ローカルクライアントのマーケティング・販促活動がより円滑になる事を目的として、優れたCMが各地で放送され、また地元クリエイターが相互啓発するための活性役として旧テレビCM部門に地域賞を創設致しました。

<フィルム部門 B カテゴリー (Online Film)
総務大臣賞 / ACC グランプリ、 ACC ゴールド>

賞名	広告主	商品名 タイトル	広告会社	制作会社
総務大臣賞/ ACC グランプリ	OK Go+ Honda	OK Go / I Won't Let You Down	もり／ドリル/ 電通	モリモリ
ACC ゴールド	大日本除虫菊	サンポール / ベンキー・シロイシ	電通 関西支社/ ワトソン・クリック	春企画
ACC ゴールド	サントリー食品 インターナショナル	C.C.レモン / 忍者女子高生 制服で大回転 japanese school girl chase #ninja	博報堂／博報堂 DY メディアパー トナーズ／博報堂 ケトル	BIJIN&Co./ コトリフィルム
ACC ゴールド	三井不動産 レジデンシャル	ブランデッドエンターテイン メント／タイムスリップ! 堀部安兵衛	電通	二番工房× OCTaVE

<フィルム部門クラフト賞、小田桐昭賞>

- ・プロデューサー：村井敏雄氏 (新日邦／コンコルド／コンコルゲン夫婦シリーズ)
- ・ディレクター：浜崎慎治氏 (au／あたらしい英雄シリーズ、三井不動産／堀部安兵衛)
- ・カメラマン：野田直樹氏 (ライフカード、LOTO7、BIG2015、住友生命等)
同 Apple／ iPhone6 シリーズのカメラマン一同
- ・ライトマン：藤井稔恭氏 (BIG2015、LOTO7、旭化成ホームズ、ポカリスエットなど)
- ・エディター：坂巻亜樹夫氏 (au／あたらしい英雄シリーズ、pepsi、日野自動車など)
- ・サウンドデザイン：益田泰地氏 (健康コーポレーション／ライザップ)



- ・演技賞 : 松田翔太、桐谷健太、濱田岳、有村架純、菜々緒さん (au/あたらしい英雄シリーズ)、渡辺えりさん (東京ガス/家族の絆・母とは)、草薙剛さん (島忠/シマホ企業)、寺田心さん (TOTO/NEOREST 菌の親子)、赤井英和さん (健康コーポレーション/ライザップ)、タモリさん (サントリーホールディングス/BOSS)
- ・小田桐昭賞 : 村田俊平氏 (ACC シルバー : 英進館/中学部/歩く男他 2篇)

<フィルム部門 審査員 (敬称略・五十音順) >

審査委員長

古川裕也 電通 コミュニケーション・デザイン・センター長/
エグゼクティブ・クリエイティブディレクター

佐々木宏 シンガタ クリエイティブディレクター
佐藤カズー TBWA\HAKUHODO エグゼクティブクリエイティブディレクター
澤本嘉光 電通 エグゼクティブ・クリエイティブディレクター/CMプランナー
塩崎秀彦 博報堂 エグゼクティブクリエイティブディレクター
菅野薫 電通クリエイティブ・ディレクター/クリエイティブ・テクノロジスト
高崎卓馬 電通 エグゼクティブ・クリエイティブディレクター
多田琢 TUGBOAT CMプランナー
土屋敏男 LIFE VIDEO 代表取締役社長
東畑幸多 電通 シニア・クリエイティブディレクター
西田淳 ドリル コンテンツ・プランナー
蛭川実花 写真家・映画監督
福里真一 ワンスカイ CMプランナー/コピーライター
山崎隆明 ワトソン・クリック クリエイティブディレクター/ CMプランナー
岡野草平 電通 CMプランナー

<フィルム部門 A カテゴリー概要>

審査対象 : 2014年7月1日から2015年6月30日までに日本民間放送連盟加入放送局で初放送のCM。

地域審査会 : 8月初旬~中旬に全国8都市 (札幌、盛岡、長野、浜松、名古屋、大阪、高松、鹿児島) で実施。

全国審査会 : 一次オンライン審査 8月28日 (金) ~9月8日 (火)、
最終審査会 9月16日 (水)、18日 (金)



入賞内訳：

フィルム A カテ (応募総数 1,447 本)	総務大臣賞/ACC グランプリ	1
	ACC ゴールド	10
	ACC シルバー	15
	ACC ブロンズ	19
	ACC ファイナリスト	48

地域賞 7 本 (ACC 地域ファイナリスト 108 本)

<フィルム部門 B カテゴリー概要>

審査対象：2014 年 7 月 1 日から 2015 年 6 月 30 日までの間に、Web 上で公開されている映像
 広告。初公開日は問いません。

全国審査会：一次オンライン審査 8 月 28 日 (金) ~9 月 8 日 (火)、

最終審査会：9 月 16 日 (水)、18 日 (金)

入賞内訳：

フィルム B カテ (応募総数 326 本)	総務大臣賞/ACC グランプリ	1
	ACC ゴールド	3
	ACC シルバー	3
	ACC ブロンズ	4
	ACC ファイナリスト	6

.....

<ラジオ CM 部門 総務大臣賞/ ACC グランプリ、ACC ゴールド>

賞名	広告主	商品名 タイトル	広告会社	制作会社
総務大臣賞/ ACC グランプリ	サントリー ホールディング グス	サントリー ビール Beer-lingual	マツキャン エリクソン	メガヘルツ
ACC ゴールド	ファースト ブランド	マイベストジョブ/ もち屋の 娘/恋のはなし/歯ブラシ	電通 関西支社	ヒッツコーポ レーション
ACC ゴールド	江崎グリコ	ポッキーチョコレート 告白/仲直り/旅立ち	電通 関西支社	ヒッツコーポ レーション
ACC ゴールド	サントリー ホールディング グス	なっちゃん/10 歳男子	大広	ビッグフェイス
ACC ゴールド	長谷川工業	脚軽ブラック/誕生日篇	なし	朝日放送 ビッグフェイス



ACC ゴールド	山善	企業 / 給料	電通関西支社	ビッグフェイス
-------------	----	---------	--------	---------

<ラジオ CM 部門クラフト賞>

- ・ディレクター : 正樂地咲氏 (ファーストブランド/もち屋の娘シリーズ)
- ・コピーライター: 矢野貴寿氏 (山善/給料)
- ・プランナー : 高田聡子氏 (サントリー ビール/Beer-lingual)
- ・音楽 : 「江崎グリコ/ポッキーチョコレート/告白他」の音楽
- ・タレント賞 : 「カープの選手達」/広島東洋カープ/カープ集客告知
同 大泉洋、森絵里佳さん/淡麗グリーンラベル/インダヨ! 2015!/誰だよ

<ラジオ CM 部門 Under29 賞 (優れた作品を手掛けた 29 歳以下の主制作者に贈賞) >

- *PL=プランナー、CW=コピーライター、D=ディレクター、NA=ナレーター)
- ・森昭太氏 (PL、CW、D: ACC ファイナリスト レイコップ/今言う事じゃない他 4 編)
 - ・小堀友樹氏 (PL、CW、D: ACC ブロンズ ファーストブランド/ひとり、しりとり)
 - ・明円卓氏 (PL、D: ACC ブロンズ マルハニチロ/リサーラ/あんまり動かない体操)
 - ・関俊洋氏 (PL、CW: ACC ブロンズ パイオニア/サイバーナビ/カーネギーホールへの道、
楽ナビ/いろんな道)
 - ・押部由紀奈氏 (PL、CW: ACC ブロンズ 大宮教育センター/スウィン大教スイミング
スクール/何回も見たい)
 - ・武田さとみ氏 (PL、CW、D: ACC ファイナリスト ワコール/企業/10 人 10 色)
 - ・神佳弘氏 (PL、NA: 筑波大学/学生制作 CM/トイレ編)
 - ・倉光真以氏 (PL、CW、D: ファーストブランド/マイベストジョブ/バイト探し中)
 - ・中村彩子氏 (PL、CW、D: 味の素/いのちの昔)
の 9 氏

<ラジオ CM 部門 審査員 (敬称略・五十音順) >

審査委員長

澤本嘉光 電通 エグゼクティブ・クリエイティブディレクター/ CM プランナー

今浪祐介 オフィスクレッシェンド 構成作家

井村光明 博報堂 シニアクリエイティブディレクター

大谷ノブ彦 ダイノジ

金井渉 TBS プロネックス

権八成裕 シンガタ CM プランナー



嶋浩一郎 博報堂ケトル 編集者/クリエイティブディレクター/代表取締役社長/共同 CEO
 遠山大輔 グランジ
 中川英明 電通 コピーライター/CMプランナー
 中山佐知子 ランダムハウス コピーライター&ディレクター
 西田善太 マガジンハウス BRUTUS 編集長
 福本ゆみ 福本ゆみ事務所 コピーライター・クリエイティブディレクター
 三井明子 アサツー ディ・ケイ クリエイティブディレクター/コピーライター

<ラジオ CM 部門概要>

審査対象 : 2014年7月1日から2015年6月30日までに民放連加入放送局で初放送のCM。
 地域審査会 : 8月初旬~中旬に全国8都市(札幌、盛岡、長野、浜松、名古屋、大阪、高松、鹿兒島)で実施。

最終全国審査会 : 9月10日(木)、11日(金)

入賞内訳 :

ラジオ (応募総数 587 本)	総務大臣賞/ACC グランプリ	1
	ACC ゴールド	5
	ACC シルバー	6
	ACC ブロンズ	14
	ACC ファイナリスト	61

ACC 地域ファイナリスト 31 本

.....

<ME 部門 総務大臣賞 / ACC グランプリ、メダリスト>

賞名	広告主	商品名、 キャンペーン名	広告会社	制作会社
総務大臣賞 / ACC グランプリ	メルセデス・ ベンツ日本	GLA クラス GO! GLA	HAKUHODO THE DAY / 博報堂	AOI Pro.
メダリスト	サントリー ホールディングス	澄みわたる梅酒・澄みわたる柚子酒・澄みわたる葡萄酒 澄みわたるシリーズ	博報堂	AOI Pro.
メダリスト	サンヨー食品	サッポロ一番 このひと手間が、アイラブユー。	博報堂	AOI Pro.



メダリスト	オークローン マーケティング	「ワンダーコア」 「ワンダーコア スマート」 「ワンダーコア」「ワンダーコア スマート」2015年度 同時 ローンチキャンペーン	博報堂 / 博報堂DY メディアパート ナーズ	ティー・ワイ・オー/ ティー・ワイ・オーTYO プロダクションズ 2
メダリスト	KDDI	au 三太郎	電通	AOI Pro.
メダリスト	Apple	iPhone6 World Gallery	TBWA\Media Arts Lab	なし

<ME (マーケティング・エフェクティブネス) 部門 審査員 (敬称略) >

審査委員長

土橋代幸 トヨタマーケティングジャパン 取締役

幼方聡子 東レ 宣伝室長

小和田みどり ライオン 宣伝部長

矢野絹子 KDDI コミュニケーション本部 宣伝部長

山口有希子 日本アイ・ビー・エム 広報・宣伝部門 部長

木下一郎 電通 クリエイティブ・ディレクション・センター センター長 ECD

清水 健 アサツーディ・ケイ 統合ソリューションセンター エグゼクティブ・クリエイティブディレクター

田中昌宏 大広 ビジネス統括ユニット エグゼクティブ クリエイティブ ディレクター

能登健裕 東急エージェンシー ソリューション本部クリエイティブ局局長

藤井 久 博報堂 クリエイティブ戦略企画室長

<ME 部門概要>

審査対象：CMを中心に戦略的かつ効果的な広告活動を展開した企画で、2014年7月以降も継続している企画（キャンペーン）で、2014年7月1日から2015年6月30日の間に、一般社団法人日本民間放送連盟に加入している放送局において当該キャンペーンのテレビもしくはラジオCMが放送されていることが条件となります。

審査会：1次審査会 7月30日（木）、最終審査会 9月14日（月）

入賞内訳：

ME (応募総数 69 本)	総務大臣賞/ACC グランプリ	1
	ACC メダリスト	5
	ACC ファイナリスト	9

.....



<インタラクティブ部門 総務大臣賞/ACC グランプリ>

賞名	広告主	商品名 タイトル	広告会社	制作会社
総務大臣賞/ ACC グランプリ	アミューズ/ ユニバーサルミ ュージック合同 会社	Perfume at <small>サウス・パシフィック・サウスウエスト</small> SXSW	電通	ライゾマティクス /電通テック
ACC ゴールド	スポーツビズ	フェンシング/ Fencing Visualized	電通	電通テック
ACC ゴールド	大塚製薬	ポカリスエット/ポカ リスエット イオンウ ォーター / インハイ.TV	博報堂/博報堂DY メディアパート ナーズ	データスタジアム
ACC ゴールド	ドワンゴ	ニコニコ超会議 2015 「リアル SUMOU」	なし	ドワンゴ/ ネイション

<インタラクティブ部門特別賞、クラフト賞>

- ・審査員特別賞～敢闘賞～ NEWSY/しらべえ/日本初のデータニュースサイト「しらべえ」
創刊
- ・審査員特別賞～イラストレーション賞～ ソニー・ミュージックレーベルズ/三戸なつめ
『前髪切りすぎた』/三戸なつめ『前髪切りすぎた』のMV作りすぎた
- ・審査員特別賞～共感賞～ サイボウズ/企業広告/働くママたちに、よりそうことを。

クラフト賞

- ・テクニカルディレクター賞：
サクーシャ氏 (ヤフー/Yahoo! JAPAN/ヤフートレンドコースター)
- ・運営プロデューサー賞： 内藤悠氏 (ドワンゴ / ニコニコ超会議 2015「リアル SUMOU」)
- ・プログラマー賞：
花井裕也氏 (アミューズ /ユニバーサル ミュージック合同会社/Perfume at SXSW)
- ・サーバーエンジニア賞：
矢吹豪氏 (日本郵便/年賀はがき/LINE 年賀状 ぼすくま 森の年賀状屋さん)
- ・プロデューサー賞：
横澤大輔氏 (大塚製薬/ポカリスエット、同イオンウォーター/インハイ.TV)

※上記クラフト賞に付記されている作品は、今回エントリーされたものの代表作品になります。



<インタラクティブ部門審査員（敬称略・五十音順）>

審査委員長

北風勝 博報堂 エグゼクティブクリエイティブディレクター

角田陽一郎 TBS テレビ プロデューサー

佐々木康晴 電通 エグゼクティブ・クリエイティブディレクター

白井明子 ローソン 営業戦略本部 デジタルコミュニケーションPJ リーダー

菅野薫 電通 クリエイティブ・ディレクター/クリエイティブ・テクノロジスト

須田和博 博報堂 シニアクリエイティブディレクター

高野文隆 アサツー ディ・ケイ コミュニケーション・アーキテクト/クリエイティブ・ディレクター

刀田聡子 宣伝会議『ブレーション』編集部 副編集長

中村洋基 PARTY Creative Director / Founder

福田敏也 777 Interactive クリエイティブ・ストラテジスト/ブランディング・コンサルタント

朴正義 バスキュール Creative Director

本間充 花王 デジタルマーケティングセンター デジタルトレード室長

真鍋大度 Rhizomatiks メディアアーティスト、プログラマ

<インタラクティブ部門概要>

審査対象： 2014年7月1日～2015年6月30日の間に掲載されたインターネット広告・モバイル広告、同期間にローンチもしくはリニューアルした企業・団体によるウェブサイト・モバイルサイト、同期間に公開されたウェブ・モバイル・アプリケーション、同期間に実施されたリアルイベントなど、すべてのインタラクティブ広告・広告的取り組みを対象とします。

審査会： オンライン一次審査 8月17日（月）～9月7日（月）、 最終審査会 9月15日（火）

入賞内訳：

インタラクティブ (応募総数 180 本)	総務大臣賞/ACC グランプリ	1
	ACC ゴールド	3
	ACC シルバー	4
	ACC ブロンズ	8
	ACC ファイナリスト	11



—注 1—

<審査講評 フィルム部門 審査委員長 古川裕也 氏>

ACC 2015 フィルム部門

クリエイティブを巡る環境がこれほど変化しているにも関わらず、ACC の中心的カテゴリーである、テレビ部門はそのままに放置されていた。

今年は、そのテレビ部門を一新した。

まず、カテゴリーの名称を、テレビ部門からフィルム部門に変更した。世界的に見ても、コミュニケーションにおける映像表現の持つ力と重要性はますます大きくなっている。ここで言う映像表現とは CM に限らない。主にウェブ上に置かれるブランデッド・コンテンツ等、CM 以外の映像表現が現れ多くの支持を集め、クライアントのブランディングやプロモーションに貢献している。それ故、テレビ CM と同義だった“テレビ部門”という名称を、CM を含むすべてのブランデッド・ムービーを意味する“フィルム部門”と改めた。

それに伴い、今までと同様にテレビ CM のみを審査する部門を A カテゴリー・テレビ CM、テレビ以外のメディアで主に視聴された CM 以外のブランデッド・コンテンツを新たに B カテゴリー・オンラインフィルムとして、募集・審査することとした。結果、B カテゴリーだけで 300 本以上、フィルム部門全体として前年比 122% の応募があり、久々に増加に転じた。

僕たちの仕事が、CM のみならず広くムービー・コンテンツを企画制作する仕事に、拡張していることがよくわかる。

評価基準は、freshness of idea。

今までになかった何かを確実に含んでいることをいちばん重要視した。

(A カテゴリー)

今年は、従来のようにゴールド 10 本という風に、あらかじめ本数を決めることはせず、1 本 1 本、それぞれゴールドにふさわしいか、シルバーにふさわしいかを議論・投票して決定する方針にした。例年、全体のデキにはかなり差があるので、賞の、とくにゴールドの本数はそれを反映すべきと考えたからである。

今年は、グランプリ 1 本、ゴールド 10 本、シルバー 15 本、ブロンズ 25 本という結果になった。

グランプリは、東海テレビ「戦争について考える」。1 回目の投票で大差で決定した。テレビ CM には、ストーリーテリングの能力だけでなく、ジャーナリスティックな能力もあることを証明した。それが評価された。

昨年が、フィクションを極限まで追求したペプシ「桃太郎」。一昨年が、世の中の硬直した常識を覆すナイキ「選手宣誓」、その前は震災後の一年ということもあって、トヨタ「Reborn」とホンダ「負けるもんか」が同時受賞。日本人全体をエンカレッジする 2 本が選ばれた。その前が、ノンフィクションで参加型の JR 九州「祝！九州新幹線」。

こうして、単年だけでなく歴史的流れを振り返ってみると、テレビ CM にはそもそも多様なクリエイティブの可能性があることがわかる。今年のグランプリ作品は、そこに新たな痕跡を刻んだと思う。



(B カテゴリー)

受賞作、とくにゴールド以上の4本を見ていただくと、初年度から多種多様な高いレベルのフィルムが集まったことがわかると思う。こちらは激戦で、OK Go+Honda とサンポールは、実は一票差だった。まったく異なる種類のフィルムだけれど、どちらもオンライン・フィルムの第一回グランプリにふさわしい圧倒的傑作で、どちらにも受賞の可能性があった。

審査のプロセスで、Bカテがあることの意味、Aカテとは違うどういうクライテリアにして育てていくべきかなど、多角的で有意義な議論が交わされた。まったく新しいカテゴリーなので、みんなで少しずつ創りあげていくべきものだと思う。やがて、僕たちの仕事を拡張していく重要なカテゴリーになっていくだろう。

今までと違う形の審査を終えて思うのは、今年でいうところのAカテゴリーが、いかに厳しくレベルの高いたたかいを続けてきたかということだ。そこで半世紀以上にわたって鍛えられてきたクリエイティブ筋力の存在こそが、すべての映像表現という新たなゲームに於いても、僕たちがいいものを創り続けることができると確信させてくれるのである。

今年のフィルム部門の審査が、歴史を新しくすることに少しでも貢献できるとすれば、こんなにうれしいことはない。

<審査講評 ラジオ CM 部門 審査委員長 澤本嘉光氏>

今年のラジオ部門は、応募総数が10%も増加したこともあり

全体としてラジオCMが元気になりつつある印象を受けるような好作品が多い印象を受けました。

その中で金賞を受賞した作品は、アイデアあふれるもの、インタビューで構成されたもの、心をくすぐられるような良質な原稿のもの、など多種多様な作品が並ぶ結果になり、審査員を務めた広告関係者のみならず、編集者、番組制作者、笑いのプロである吉本の芸人さんたちもその面白さに感心する場面が何度も見られました。

その中で決選投票の結果グランプリになったのは、ラジオと言うメディアの特性そのものを生かした音声の面白さだけで十分効く人の心を引き付けるサントリーの作品。「サントリーの生ください」とあたかも聞こえる「空耳」の外国語の文章を集めたこのラジオは、たった一個の太いアイデアがあればラジオは巨大な予算がなくても大きな成果を得れるという格好の例となったと思います。

ラジオの普及によってラジオに若年層の関心も向きつつある今、CMも一個の放送コンテンツとしてラジオというメディアにチカラになれると認識を新たにしました。



<審査講評 ME 部門 審査委員長 土橋代幸氏>

今年のゴールドは、メルセデス・ベンツ日本「GLA クラス」のキャンペーンに決定いたしました。超高級車ブランドの代名詞であるメルセデスが「スーパーマリオ」という意外性のある広告表現を核とし、新規マーケットの開拓にチャレンジしたこと。またその素晴らしい成果は今年一番効いたマーケティングとして高く評価いたしました。私自身、「効いたなあ」という実感があります。

また、メダリストでは KDDI の au。最終審査でも大接戦でグランプリと引けを取らない高評価を受けました。au のマインドシェアを飛躍的に向上させ、次作を見たくなるエンターテインメントとワンメッセージに絞った広告展開は、戦略的で今後も楽しみなキャンペーンです。その他、ワンダーコアは、通販定番の長尺CMを核としたマーケティングから 15 秒CMを核とした新しい通販戦略にチャレンジするなど、ファイナリストはいずれも甲乙つけがたい力作揃いでした。

なお、昨年まで男性だけであった 10 名の審査委員を女性 4 名、男性 6 名と変更いたしました。狙い通り、女性が主体となる商品・サービスへの実感を伴う発言も多数、感性の男女の違いなどを改めて確認することができ、審査として極めて有効であったと感じました。

<審査講評 インタラクティブ部門 審査委員長 北風勝氏>

「その他全部部門の行方」

インタラクティブ部門は、ACC その他全部部門。そして審査は「チャンスと勇気」を合言葉に未来のシーズを発見する会。今年は新たに 2 人の女性審査員を迎え、ミーティングや事前の顔合わせも盛り上がり、昨年にもましてさまざまな角度から興味深い審査ができたと思います。

「進化が長く続くもの」「奥行きがあるか?」「バズをゴールにする時代は卒業」「ちやぶ台をひっくり返すようなもの」「どんな問題意識を持っているのか」「よくやったな、これ」「人がどう動いて何が達成されたのか」「シンプルにすげー!」「無駄な偉業もほめよう」……

これらはすべて違う審査員から出てきた言葉。まさにキーワードバトルです。

昨年なかなか崩せなかった「ゴールドの壁」は次々に突き破られました。スポーツビズ「Fencing Visualized」、大塚製薬「インハイ.TV」、ドワンゴ「リアル SUMOU」……そして、グランプリは 4 つ巴の戦いを制した「Perfume at SXSW」。リアルなライブ会場とバーチャル世界を自在に行き来する大胆なチャレンジが審査員の心をわしづかみにしました。

というわけで、その他全部部門の行方は ACC の未来です。この部門、来年もお楽しみに!

以上